

令和3年11月1日

阿智村長 熊谷秀樹 様

阿智村議会議長 吉田哲也

令和3年度 議会と自治会役員との懇談会での意見について（報告）

1. はじめに

議会では、首記懇談会を8月から9月にかけて実施し、10月の全員協議会において総括しました。その内容を以下に記します。村では11月に行政懇談会を実施されると思います。その際に、本報告を参考にいただき、村の考えを回答いただけると、一層懇談会が充実すると思いますので、そのようにお願いします。

2. 全体を通して課題となるもの

①人口減少問題への対応

- ・定住支援、空き家利活用、働ける場づくり（工場誘致など）
- ・農業後継者問題
- ・草刈り、雪かき、支障木伐採などの人手不足とその対応
- ・高齢化、少人数化に対応した各種住民組織の在り方

②村への要望に対する具体的回答を求める声が多い

③地区五か年計画の総括、策定、実施中の点検を自治会とのキャッチボールを密に。

3. 各自治会からの意見・要望

(1) 上中関区自治会

実施日 令和3年9月17日

出席者 服部会長・木下副会長、熊谷義文、井原光子、佐々木幸仁

1) 意見・要望

- ①最大の課題は、七久里の埋め立てと村道Ⅰ－3号線の改良問題です。埋め立ては、先日（8月4日）に地権者会があり説明を受けたが、村の態度もはっきりせず、よくわからない会議だった。今後どうなるのか心配を持たれている。
- ②村道Ⅰ－3号線の改良は基幹道路なので早く進めてほしい。七久里の埋め立てとはリンクしないで進めてもらいたいがどうか。・・・※
- ③振興協議会を各自治会単位で組織する話があったが、人選に悩むので相談にのってほしい。委員は、村主導で人選してほしい。（議会側から、協議会の中に「アドバイザー制度」を利用し、相対的なアドバイスを戴く事も可能である。これを利用したらどうか、と提案した）
- ④小洞の林道の川が荒れている。主管課に相談する。・・・※
- ⑤自治会からの要望に対して「予算が確保できたら実施します」との回答があるが、「いつまでにやるのか」明記してほしい。・・・※
- ⑥村を通じて飯田市へ要望した事項もあるが、飯田市からの回答を詳細に回答してほしい。・・・※

(2) 中関区自治会

実施日 令和3年9月10日

参加者 小野会長、折山副会長、熊谷部落長、原8組組長、熊谷10組組長
熊谷民生児童委員 大嶋正男、吉村金利、田中真美

1) 意見要望

①現実の地域課題からお話しされました、新規に宅地を求めて定住されている住民の方たちと従来から住まわれている方たちと生業の形の違い、中関団地住民、農家、非農家、地域活動への考え方の違いがある。さらに高齢化が追い打ちとなり、神社総代構成、農道、井水管理構造改善した後の村道、赤線、青線、農道、井水管理道路の扱い、未舗装の道路への対応についてなど、共同作業が出来なくなりつつある。

②農地等への支障木、日陰解消対策等への対応について、補助金の在り方もふくめ今日的課題に対応できる対策が必要ではないか。全村の課題と思う。・・・※

③通学路の安全確保、歩道がつながっていない箇所がある。小学生から高校生一般の買い物客まで利用しているので至急対応が必要と考えるが。

④高齢化問題

部落役員、神社氏子総代、農協総代など選出することが困難になりつつある。互組そのものが高齢化、役員などを免除してほしいという声が出ている。互組によって戸数に違いがあり多い組は13戸少ない組では6戸。

農家が中心の互組と非農家が中心の互組とはっきり分かれていて、農家が中心の互組では高齢化、後継者問題は避けられない。

結婚して阿智村に来て37年になるが二度の合併をしているが人口は減り続けている、人口問題は村として考えていかなくてはいけないのではないかと

⑤地域作り

㊦空き家の利活用・・・住みやすい地域で在れば来てくれるのではないかと、他の自治体では空き家をリフォームして売り出すこともしている、村ではその様な取り組みをしてはどうか。

㊧今年度始まった4区画の宅地造成について、入ってきてくれた人には、同じ互組に入ってもらい互組のバランスをとりたい→部落編成委員会の考え

㊨公営住宅問題・・・中関団地の整備の問題、団地奥の道路整備の問題と個人住宅が増えてきている、村の開発計画などが示されていない、現在の道路では有事の際に避難困難になることも考えられる

(3) 駒場区自治会

実施日 令和3年9月16日

出席者 原会長、佐藤副会長、小林義勝、櫻井久江、唐澤浩平

1) 意見要望

①各常会からの要望を現実に

特に馬場五反田からの要望で、役場を取り巻く3本の道路の舗装とそれに伴う井水への蓋をすることで、道の拡張ができないか、という件で、

㊦井水が条件付きでグレーチングの蓋ができるようになった。

㊧役場から阿智精機までの水道工事と一緒にできるようになった。

が、関田の道路拡幅は行政が主となって進めなければダメ。本来行政がやるべきことができていない。

②駒場区民の憩いの場等の建設の早期推進

㊦わい wai 公園3つのエリア構想計画の確実な推進をお願いしたい。

この問題について、駒場区自治会長に連絡ない。どういふことか。・・・※

㊧城山から曾山への遊歩道の建設、阿智川吊り橋、駒場区大井の遊歩道へ

③少子高齢化による阿智村の小学校のあり方検討委員会の設置について

小さな村に5つの小学校がある。教育の向上と地域のあり方を踏まえた小学校を今後どうしていくことが望ましいのか、またどんな方法があるのかを検討する委員会を設置し、方策を練っていくことが必要ではないか。・・・※

④村と自治会の役割、付随した団体との関係の明確化と連携を進められたい。

㊦防災組織・シニアクラブ・公民館・チャレンジ you・社協・遺族会

㊧神社等の存続支援

(4) 伍和自治会

実施日 令和3年9月10日

出席者 河合会長、原副会長、熊谷副会長、金子書記、吉田哲也、井原敏喜、熊谷恒雄

1) 意見・要望

①定住人口確保について

⑦住宅に関して一戸建て村営住宅（将来払下げ有）がいくつかあればよいのでは。村で空き家を買ひ上げ、改修して貸し、10年後払い下げるなど。農地もセットだとよりよい。

⑧若者向けのアパートもあるとよい。

②小学校、保育園について

統合の考えもわかるが、地区にある小学校保育園は守っていききたい。・・・※

③農業の後継者不足が問題。地域おこし協力隊の活用はできないものか？ 豊丘村のように、新規就農とセットで取り組むことを検討してもらいたい。

④地区計画について

⑦地区計画は、村としてはもっと大切に扱い、自治会とのキャッチボールが多いとよい。今回のものもしっかり総括して新地区計画にいかすようにしてほしい。

⑤診療所について

⑦公民館移転時に一緒に移転してほしい、午後の診療も考えてほしい旨の要望は自治会として村にしてある。

⑧自治会役員としても、診療所は利用者少なく、認知度も低い現状は承知しているが、利用できる交通機関がないなど、村に診療所を活かす工夫がないことも原因。なくす方向のことばかりでなく、生かす工夫を考えてほしい。

⑥農業の今後について

⑦10年後できなくなっている農地・果樹園かなりあると予想される。伍和での農業生産法人方式にできないものか。村も農業の新しい在り方を研究してほしい。

⑦災害復旧について 災害以降県が堰堤等整備してくれているが、仏供田橋から下は手がついておらず、危険。→井原議員が一般質問で村に質した。

(5) 智里東自治協議会

実施日 令和3年9月18日

参加者 熊谷会長、熊谷副会長、石原副会長、吉田哲也、井原敏喜、熊谷恒雄

1) 意見要望

自治会でまとめた要望書があり、それに基づいてお話を伺った。(詳細は別紙)

① 大沢

㊦東公民館駐車場でこどもが安全に遊べるように車使用部分と分けられるようフェンスを設置してほしい。

㊧防災倉庫の中身はどの程度準備してもらえるのか。個人で用意すべきものはどういうものか、わかるようにしておくといいのでは。

㊨村からくる文書は外来語が多い。日本語の説明がほしい。

② 奥藤

㊦支障木の整理が必要(旧阿智コン、下平ハイツ近辺)

㊧村道周囲管理の在り方(担い手不足)、交通安全、防犯灯設置など

㊨太陽ソーラーの防犯灯が伍和にあるが、そのようなものが設置できないか。

③ 中平

㊦道路の再舗装

㊧大平神社下の河床整理・周囲の木の整備(橋のつけかけができるとう具合いいが)

㊨網掛山登山者の駐車場整備とトイレの設置。

④ 下平

㊦がんだの坂の石積みがずれてきていて危険。

㊧旧阿智生コンから大沢橋間の中央道下の土手から水が出ている。災害が起きる前になんとかならないか。

㊨バス停・・・バス停に屋根がほしい。自転車やラクータもおけるような。

⑤ 昼神

㊦公民館(集会所ではないか。村の施設か確認必要ではあるが)が傾斜しているのではないか、調べてほしい。

㊧桂月裏の井水の整備を。

⑥ 伏谷

㊦中央道の橋(自動車は通行できないが人は通行できる状態、いずれ壊すと村はいつて

いる) の上の道は、いつできるか示してほしい。ふれあいロードでもあるはずで、それが使えれば、橋はなくてもいい。

※伏谷団地の話題

⑥ その他

- ㊦若者がかえってこれない。はたらけるところがほしい。工場誘致が有効ではないか。
- ㊧昼神再開発の会議に、もっと若い人をいれるべきでは。
- ㊨災害時に有効なので、ドローンの操縦講習を自治会でもやってほしい。
- ㊩災害アプリの導入をし、情報共有が瞬時にできるような仕組みを導入したら。
- ㊪中央道待避所（ヘリポート）へ至る道が崩れてそのまま。その道の整備を。

(6) 智里西地区自治会

実施日 令和3年9月27日

参加者 熊谷会長、田中副会長、水上産建部長、熊谷会計担当、熊谷事務担当
佐々木幸仁、井原光子、熊谷義文

1) 意見要望

- ① 弓の又公園につき、岐阜の業者から起業の打診があり地区内で諮ってほしいと村から話があり、周知したところ、今後は地域の外から力を借りることも地域づくりのひとつの方法ではないかということで村に返答した。
- ② 月川についても同様の打診があったが、もう少し検討したい。
- ③ 人口減少が心配される。若い世代が少ないことが心配。全村課題と思う。
- ④ 花桃管理費はどのような考えで金額を算出されているのか根拠を知りたい。
- ⑤ 各部落での草刈りについて、今後は携われる人も少なくなることを考えると、負担が大きくなり心配。すでに多くの出役日数がある。作業に係る村からの支援をお願いしたい。・・・※
- ⑥ 毎年、自治会要望を出す但回答は継続が多い。優先的に取り組める内容の目途が示していただきたい。・・・※
- ⑦ 挙げた要望について、進捗の報告はいただきたい。・・・※
- ⑧ パークランドについて、新たにキャンプ事業の取り組みを始めた。今後の運営について、アドバイスや支援を一緒に考えてほしい。

(7) 浪合自治会

実施日 令和3年9月9日

参加者 稲垣会長、伊藤副会長、川口副会長、大嶋正男、吉村金利、田中真美

1) 意見要望

①共有林管理の課題について

緑の財産をなんとかしたい、伐採した後植林をして緑を後世に残したい、今年度から動いている

②防災組織について

部落長が変わると防災担当が変わる点が問題ではないか。浪合の若い人たちは、ほとんどの人が地域外へ出ている、自治を守るという観点で地元にいるリタイア組でやればなんとかなるのではないかと考えている。

防災も予知できる防災と予知できない防災があり二つに分けて予知できない地震などが起きたとき、大雨の様な時なら村からの情報もあるし、前もって準備できるので二つ別の考え方を持って対応できる組織作りを進めている。

③自治会組織の改編

少子高齢化が激しく今までの部落組織では成り立たなくなっている、一年かけても組織の変更を考えているが、変わりたくないという問題もいろいろある。

④浪合から商店が無くなった

JAの後地の利用について、活用するために候補者を求めたが手を上げる人がいなかった。その中で自治会で運営したらどうかとの案が上がった。自治会でも検討したが、むずかしいと判断、自治会としては手をおろした。

⑤ 住民が集え、街カフェ的な機能も、もてれば良いと思っている。コアで試行する。

⑥山林管理、支障木管理の問題

㊦除雪作業については村の取り組みはありがたい。

㊦一方、支障木の持ち主が地元にいない、そのような箇所が何か所も在り、話ができないケースもある。また土地の相続がうまくなされていないこともある。今後この様な問題は多く発生するのではないか。

㊦個人所有の山林でもその対応策として道路から何メートルの範囲は村が支障木として伐採出来る様な条例は出来ないのか。

㊦保安林等の制度でがんじがらめになっている、個人所有の山林では長年手入れがされていないため作業道も分からなくなっている、国策として植林された山が傾斜がきつくて切り出すことが出来ない、すでに伐期が来ている。飲み込まれる。対応が必要。考え

はないか。

⑦人口減少問題、移住定住、住宅問題

この地に住んでいくんだという決意で移住されて来るのならいいが、そうで無い場合には子育てが終われば出て行ってしまおう。少しでも長くいてもらえるよう、職場、雇用の確保、住宅、空き家対策等充実させる必要があると思う。

(8) 清内路自治会

実施日 令和3年8月27日

出席者 櫻井会長、櫻井副会長、小林義勝、櫻井久江、唐澤浩平

1) 意見要望

①住宅問題

㊦子育て世帯用住宅は、中学卒業までとなっている。払い下げてくれるとありがたい。

②空き家の有効利活用や解体策

㊦解体したくてもお金がかかる。村が買い取ってほしい。

③災害に対する防災対策

㊦助け合いマップは声かけになっている。

㊦豪雨等、避難の時に平日は振興室が動いているが、休日の時は周りの人がどうしたらいいかわからない。

㊦上清内路避難・・・集会所が避難所だけど川のそばなのでお寺へ避難する人がいますがそのお寺が危険個所。安全な避難所が大至急必要。

㊦下清内路避難・・・振興室が避難所になっているが、高齢者は振興室が遠く感じ公民館か集会所に避難しているのが実情。

㊦JAの跡地が安全地帯なので避難場所として考えたい。

④冬期の除雪支援

㊦高齢化になっているので除雪作業がたいへん。若い人が日中いないので降った場合大変に困る。自治会で時給500円払っていて1シーズン30万円になる年もある。今の在り方は限界に近い。担い手不足は深刻。

⑤その他

㊦学校の避難訓練が、今まで振興室でしたが今年から公民館に変更したいとの相談があった。

㊦行政がやるべきことを自治会にやらせているように感じられる。

㊦中電ダムで保証金2500万が支払われたが全て下伊那漁業組合に入っているが、村や地域、また地元団体に入れることはできなかったのか。